

# 聴覚障害児の説明文理解と最上位構造

—比較及び因果の標識の理解と文章記憶の関連性—

○相澤宏充 澤隆史  
(福岡教育大学) (東京学芸大学)  
KEY WORDS: 聴覚障害児 説明文 標識 因果 比較

聴覚障害児の読解について、白石・澤(2015)は、困難は指摘されているものの、その原因や読解時の読みの特徴については解明されていない点も多く、読みの方略に関する分析から、聴覚障害児特有の読解の特徴について明らかにする必要があると述べている。

読み方略について、Meyerら(2002)は、健聴児を対象として以下のように説明文に関する検討を行っている。彼女らは説明文の構成を「最上位構造(top-level structure)」と呼んだ。これは「記述」「順序」「因果」「問題解決」「比較」の5つに分類され、それぞれの文章構造に特有の『標識』が文章の構成や読解の際に利用されていると述べている。標識の例として「記述」であれば「例えば」「特徴として」、「順序」であれば「まず」等が挙げられる。

これら標識をターゲットとして学習を行うことで、読解が向上するとしている。成人においても同様に、標識を利用した読み方略に関する訓練を行うと、文章内容の再生量や要約の質が向上することを示している(Meyer & Poon, 2001)。

そこで、本研究では、聴覚障害児においても同様な知見が得られるか確認するために、最上位構造の知識を測定する課題を作成し、文章の再生・構成との関連を検討することとした。

## 1. 方法

聴覚障害児の教育課程をもつ特別支援学校であるA、B校に通う小学部4から6年生の児童計19名(重複障害児を除く)を対象とした。

標識理解課題と文章記憶構成課題の二つの課題を行い、その関係性を検討することとした。本研究では、両課題とも最上位構造の中から「比較」と「因果」に関係する課題とした。

標識理解課題は、文章の途中の空欄に標識となる適切な単語を穴埋め、もしくは語群から選択させ、説明文の構成に関する知識を計測する。例えば「比較」に関する問題であれば、「トラとチーターは( )ネコの仲間である」の場合、「同じ」のように比較を表す単語を語群から選択、または記入する。

「比較」、「因果」の説明文を約170字と約360字それぞれ2つ作成し、計4枚とした。170字の文章では、選択肢、穴埋めそれぞれ1問ずつで、360字の文章では選択肢3問、穴

埋め1問とした。どちらも計6問となる。

文章記憶構成課題は、「比較」、「因果」それぞれ1つずつ作成した。文章内の命題数は、「比較」は16、「因果」は14である。文章をつぶやき読みによって2度読ませた後、回収し、別の用紙に文章を再生させた。ヒントなしに全てを再生することは難易度が高いと判断し、再生する用紙には、文章中の名詞を全て記載し、それを手がかりに文章を構成させることとした。

また、これらの課題と全般的な言語能力の影響の関係性をみるため教研式リーディングテストのデータを収集した。

## 2. 結果及び考察

標識理解課題に関しては、健聴児4年生47名に穴埋め・選択肢式それぞれの版の課題を作成し予備調査を行った。その正答率と聴覚障害児の正答率をTable 1に記載した。

その結果、健聴児より低い正答率を示し、「因果」にその傾向がより強かった。また、穴埋め問題の落ち込みも選択肢に比して厳しいものとなっている。

文章記憶構成課題については、再生された標識、命題、助詞の語数を計測した。この再生数と、標識理解課題の相関を求めた。その結果、全体的に高い相関が見られた。また、どの項目もリーディングテストと.50以上(.51から.82)の順位相関がみられたことから、全般的な言語力が双方の得点に強い影響を与えていると考え、リーディングテストの読書学年の影響を除いた偏相関係数を求めた(Table 2)。

「比較」については、標識理解課題と文章記憶構成課題の命題の再生数に相関が見られ、標識の理解が文章の産出に影響を与えていることが確かめられた。

文章記憶構成課題内の相関は、標識数に関しては助詞との相関が高い傾向にあった。勿論、標識には「よりも」「なので」等助詞を含んだものもあるが、「同じ」「理由」等含まないものも存在し、命題(つまり内容)の再生よりも助詞の産出能力と関係が強いという結果であった。

(AIZAWA Hiromitsu, SAWA Takashi)

Table 2 標識理解課題と文章記憶構成課題の偏相関(Spearman, 制御変数: 読書学年)

	標識理解課題			文章記憶構成課題							
	比較	因果	計	助詞		標識		命題			
	比較	因果	計	比較	因果	計	比較	因果	計		
理解課題	比較										
	因果	.31									
	計	.76	.83								
構成課題	助詞	比較	.15	.02	.00						
		因果	.15	.05	.11						
		計	.29	.21	.22	.86	.67				
	標識	比較	.15	.07	.06	.76	.40	.73			
		因果	.34	-.10	.06	.47	.79	.71	.59		
		計	.25	.08	.11	.72	.60	.81	.94	.80	
命題	比較	.60	.23	.50	.55	-.04	.40	.50	.13	.40	
	因果	.59	.29	.46	.33	.61	.62	.42	.60	.56	
	計	.80	.33	.62	.60	.40	.71	.60	.55	.64	
				.74	.76						

Table 1 標識理解課題正答率(%)

	聴覚障害児		健聴児	
	比較	因果	比較	因果
選択肢	70	64	89	94
穴埋め	55	26	88	55